平成27年度　山国川重要水防箇所

洪水の時には、その洪水により堤防が壊されたり、洪水が堤防を越えてあふれ出したりしないように、地域の水防団の方々が土のうを積むなどの「水防」活動をして、堤防を守ります。そうした事態をいち早く察知するため、洪水が一定の規模になると(警戒水位)水防団の方々は危険な箇所がないかどうか、堤防を点検します。
ただし、堤防の点検区間は長いため、現在の堤防の高さや幅、過去の漏水などの実績などから、あらかじめ水防上重要な区間を決めておけば、より効率的に堤防の点検ができ、危険な箇所の早期発見につながります。

　このような考えから、毎年重要水防箇所を定めるとともに、洪水期前には関係者により、その年の重要水防箇所を確認する合同巡視なども行われています。

凡例
A 区間
B 区間
要注意区間
重点区間
積み土のう
月の輪工法
中津出張所倉庫
下宮永排水機場
耶馬・日田・英彦山国定公園
福岡県
上毛町
大臣管理区間

水　防　資　材

1）水防備蓄資材

（平成 27 年 2 月 20 日現在）

番号	品　目	◎ 出張所倉庫	◎ 下宮永排水機場
1	土のう袋	7,300	0
2	大型土のう袋	150	138
3	耐候性大型土のう袋	353	50
4	水のう	300	0
5	袋詰根固め（2 t ）	559	36
6	木杭	398	0
7	金杭（メガネピン）	15	120
8	丸鋼	0	65
9	鉄線	1	0
10	スコップ	47	8
11	ツルハシ	12	0
12	掛矢	21	4
13	大ハンマー	5	0
14	ハンマー	5	0
15	ペンチ	1	0
16	鎌	32	0
17	鋸	10	0
18	斧	3	0
19	鍬	5	0
20	鉈	6	0
21	バール	6	0
22	エンジン刈払機	4	0
23	火ばさみ	131	0
24	フォーク	4	0
25	竹製てみ（えびじょうげ）	4	0
26	一輪車	11	3
27	照明器具	2	0
28	A 型バリケード	23	0
29	オイルフェンス	1	4
30	ブルーシート(3.6×5.4m)	92	0
31	ひしゃく	0	4
32	救命胴衣	10	8
33	脚立	1	0
34	レベル	2	0
35	スタッフ	2	0
36	エンジンポンプ	1	0
37	ゴムボート	2	0
38	ボルトカッター	1	0
39	ロープ	10	0

凡例 ⬢

2）土砂及び根固めブロック備蓄箇所

（平成 27 年 5 月 8 日現在）

番　号	水系名 河川名	位　置	備 蓄 量(土砂m^3)	根固めブロック（個）　備　考
1	山国川水系 山国川	左岸 2K/100 付近	650	（第 2 種側帯）
2	山国川水系 山国川	左岸 3K/300 付近	100	2 t 六脚ブロック　723 個
3	山国川水系 山国川	左岸 3K/600 付近	650	（第 2 種側帯）
4	山国川水系 山国川	左岸 5K/200 付近	3,600	（第 2 種側帯）
5	山国川水系 山国川	左岸 6K/600 付近	3,300	ヘリポート 2 t 六脚ブロック 100 個　（第 2 種側帯）
6	山国川水系 山国川	左岸 6K/850 付近 （上毛町借地箇所）		① 2t 六脚ブロック　100 個 ②2t ホロースケヤー　400 個 ③連続ブロック（998×998×350）620 個 ④連続ブロック（998×499×350）11 4 個 ※連結金具 1029 個は下宮永排水機場に保管
7	山国川水系 山国川	左岸 6K/900 付近	300	（第 2 種側帯）
8	山国川水系 山国川	左岸 8K/400 付近	730	（第 2 種側帯）
9	山国川水系 山国川	左岸 15K/100 付近	1,300	（第 2 種側帯）
10	山国川水系 山国川	右岸 2K/300 付近	550	（第 2 種側帯）
11	山国川水系 山国川	右岸 3K/000 付近	400	（第 2 種側帯）
12	山国川水系 山国川	右岸 4K/200 付近	600	（第 2 種側帯）
13	山国川水系 山国川	右岸 5K/100 付近	800	（第 2 種側帯）
14	山国川水系 山国川	右岸 5K/400 付近	200	（第 2 種側帯）
15	山国川水系 山国川	右岸 8K/300 付近	2,000	（第 2 種側帯）
16	山国川水系 中津川	右岸 0K/200 付近	750	（第 2 種側帯）
17	山国川水系 中津川	右岸 0K/900 付近	500	（第 2 種側帯）
計			1,6430	

重要水防箇所一覧表(A)

山 国 川 水 系

番号	県　名	河 川 名	地　先　名	左右岸の区別	位　置	延長(m)	備　考	水防工法
①	福岡県	山国川	築上郡吉富町幸子	左岸	3k250～3k290	0/050	無堤で河岸が低く溢水する。（堤防高A）	積み土のう
②	〃	〃	築上郡上毛町下唐原	左岸	5k000～5k040	0/040	無堤で河岸が低く溢水する。（堤防高A）	積み土のう
③	大分県	山国川	中津市三光土田	右岸	11k400～11k600	0/190	無堤で河岸が低く、溢水・漏水の恐れ。（堤防高A）	積み土のう
④	〃	〃	中津市本耶馬渓町蕨野	右岸	17k800～18k140	0/210	無堤で低く溢水する。堤防断面が計画の1/2以下。（堤防高A）	積み土のう
⑤	〃	〃	中津市耶馬渓町冠石野	左岸	18k200～18k400	0/250	無堤で低く溢水する。堤防断面が計画の1/2以下。（堤防高A）	積み土のう
⑥	〃	〃	中津市本耶馬渓町多志田	右岸	18k800～20k000	1/130	無堤で低く溢水する。堤防断面が計画の1/2以下。（堤防高A）	積み土のう
⑦	〃	〃	中津市耶馬渓町岩屋	左岸	19k600～20k050	0/910	無堤で低く溢水する。堤防断面が計画の1/2以下。（堤防高A）	積み土のう
⑧	〃	〃	中津市耶馬渓町平田	左岸	20k850～22k490	1/510	無堤で低く溢水する。堤防断面が計画の1/2以下。（堤防高A）	積み土のう
⑨	〃	〃	中津市耶馬渓町戸原	右岸	22k500～23k500	0/890	無堤で低く溢水する。堤防断面が計画の1/2以下。（堤防高A）	積み土のう
⑩	〃	〃	中津市耶馬渓町柿坂	右岸	26k400～26k900	0/460	無堤で低く溢水する。堤防断面が計画の1/2以下。（堤防高A）	積み土のう
⑪	〃	〃	中津市耶馬渓町中鶴	左岸	26k750～27k400	0/530	無堤で低く溢水する。堤防断面が計画の1/2以下。（堤防高A）	積み土のう
⑫	〃	〃	中津市耶馬渓町柿坂	右岸	27k050～27k220	0/460	無堤で低く溢水する。堤防断面が計画の1/2以下。（堤防高A）	積み土のう
		計			12	6,630		

重要水防箇所一覧表(A)　工作物

山 国 川 水 系

番号	県　名	河 川 名	地　先　名	左右岸の区別	位　置	備　考	水防工法
13	大分県	山国川	耶馬渓橋	左右岸	15k525	流下能力不足、クリアランス不足(許可工作物)	
14	〃	〃	洞門橋	左右岸	15k660	流下能力不足、クリアランス不足(許可工作物)	
15	〃	〃	禅海橋 （羅漢寺大橋）	左右岸	16k840	流下能力不足、クリアランス不足(許可工作物)	
16	〃	〃	羅漢寺橋	左右岸	16k980	流下能力不足、クリアランス不足(許可工作物)	
17	〃	〃	七仙橋	左右岸	17k700	流下能力不足、クリアランス不足(許可工作物)	
18	〃	〃	早瀬橋	左右岸	19k040	流下能力不足、クリアランス不足(許可工作物)	
19	〃	〃	中川原橋	左右岸	19k820	流下能力不足、クリアランス不足(許可工作物)	
20	〃	〃	岩屋橋	左右岸	19k890	流下能力不足、クリアランス不足(許可工作物)	
21	〃	〃	馬渓橋	左右岸	21k260	流下能力不足、クリアランス不足(許可工作物)	
22	〃	〃	城井橋	左右岸	22k630	流下能力不足、クリアランス不足(許可工作物)	
23	〃	〃	小友田大橋	左右岸	23k400	流下能力不足、クリアランス不足(許可工作物)	
24	〃	〃	津民橋	左右岸	25k000	流下能力不足、クリアランス不足(許可工作物)	
		計			12		

重要水防箇所一覧表(B)

山 国 川 水 系

番号	県　名	河 川 名	地　先　名	左右岸の区別	位　置	延長(m)	備　考	水防工法
①	大分県	山国川	中津市高瀬	右岸	4k800～6k100	1/300	基礎地盤及び堤体の土質等からみて、漏水の恐れ	月の輪工
②	福岡県 大分県	山国川	築上郡上毛町唐原 中津市三口	左右岸	6k400～7k400	1/000	流下断面不足で溢水の恐れ（堤防高B）	積み土のう
③	福岡県 大分県	山国川	築上郡上毛町唐原 中津市三光二本杉	左右岸	9k400～9k800	0/400	流下断面不足で溢水の恐れ（堤防高B）	積み土のう
④	福岡県 大分県	山国川	築上郡上毛町原井 中津市牛ノ首	左右岸	11k030～11k400	0/370	流下断面不足で溢水の恐れ（堤防高B）	積み土のう
⑤	大分県	山国川	中津市本耶馬渓町樋田	右岸	15k510～15k610	0/090	流下断面不足で溢水の恐れ（堤防高B）	積み土のう
⑥	大分県	山国川	中津市耶馬渓町栃ノ木	左右岸	24k600～24k800	0/200	流下断面不足で溢水の恐れ（堤防高B）	積み土のう
		計			6	3,360		

重要水防箇所一覧表(重点区間)

山 国 川 水 系

番号	県　名	河 川 名	地　先　名	左右岸の区別	位　置	延長(m)	備　考	水防工法
①	大分県	山国川	中津市三光土田	右岸	11k400～11k600	0/190	河岸が低く溢水あるいは崩壊の恐れ。（流下能力が著しく低く、背後地が人家であるため）	積み土のう
②	〃	〃	中津市本耶馬渓町蕨野	右岸	17k800～18k140	0/210	堤防が低く溢水する。堤防断面が計画の1/2以下。（流下能力が著しく低く、背後地が人家であるため）	積み土のう
③	〃	〃	中津市耶馬渓町平田	左岸	20k850～22k490	1/510	堤防が低く溢水する。堤防断面が計画の1/2以下。（流下能力が著しく低く、背後地が人家であるため）	積み土のう
		計			3	1/910		

重要水防箇所一覧表(要注意)

山 国 川 水 系

番号	県　名	河 川 名	地　先　名	左右岸の区別	位　置	延長(m)	備　考	水防工法
①	福岡県	山国川	築上郡上毛町原井	左岸	10k240～10k600	0/320	新設堤防のため。（平成２４年３月完成）	
②	〃	〃	築上郡上毛町原井	左岸	10k600～11k030	0/400	新設堤防のため。（平成２７年３月完成）	
③	大分県	山国川	中津市本耶馬渓町青	右岸	16k300～16k450	0/150	新設堤防のため。（平成２７年３月完成）	
④	〃	〃	中津市本耶馬渓町蕨野	右岸	18k200～18k400	0/250	新設堤防のため。（平成２７年３月完成）	
		計			4	1/120		

重要水防箇所一覧表(要注意)　工作物

番号	県　名	河 川 名	地　先　名	左右岸の区別	位　置	備　考
1	大分県	山国川	青第１陸閘	右岸	16k300	
2	〃	〃	城井第１陸閘	左岸	21k280	
3	〃	〃	城井第２陸閘	左岸	21k310	
4	〃	〃	城井第３陸閘	左岸	21k330	
5	〃	〃	城井第４陸閘	左岸	21k430	
6	〃	〃	城井第５陸閘	左岸	21k600	
7	〃	〃	城井第６陸閘	左岸	21k740	
8	〃	〃	城井第７陸閘	左岸	21k840	
9	〃	〃	城井第８陸閘	左岸	21k940	
10	〃	〃	城井第９陸閘	左岸	21k990	
11	〃	〃	城井第１０陸閘	左岸	22k070	
12	〃	〃	城井第１１陸閘	左岸	22k110	
13	〃	〃	城井第１２陸閘	左岸	22k210	
		計			13	

危険度評定基準

種別	重要度		要注意区間
	A　水防上最も重要な区間	B　水防上重要な区間	
堤防高（流下能力）	計画高水流量規模の洪水の水位（高潮区間の堤防にあっては計画高潮位）が現況の堤防高を越える箇所。	計画高水流量規模の洪水の水位（高潮区間の堤防にあっては計画高潮位）と現況の堤防高との差が堤防の計画余裕高に満たない箇所。	
堤防断面	現況の堤防断面あるいは天端幅が、計画の堤防断面あるいは計画の天端幅の２分の１未満の箇所。	現況の堤防断面あるいは天端幅が、計画の堤防断面あるいは計画の天端幅に対して不足しているが、それぞれ２分の１以上確保されている箇所。	
法崩れ・すべり	法崩れ又はすべりの実績があるが、その対策が未施工の箇所。	法崩れ又はすべりの実績があるが、その対策が暫定施工の箇所。 法崩れ又はすべりの実績はないが、堤体あるいは基礎地盤の土質、法勾配等からみて法崩れ又はすべりが発生するおそれのある箇所で、所要の対策が未施工の箇所。	
漏水	漏水の履歴があるが、その対策が未施工の箇所。	漏水の履歴があり、その対策が暫定施工の箇所。 漏水の履歴はないが、破堤跡又は旧川跡の堤防で、漏水が発生するおそれがある箇所で所要の対策が未施工の箇所。	
水衝・洗掘	水衝部にあたる堤防の前面の河床が深掘れしているがその対策が未施工の箇所。 橋台取り付け部やその他の工作物の突出箇所で、堤防護岸の根固め等が洗われ一部破損しているが、その対策が未施工の箇所。 波浪による河岸の欠壊等の危険に瀕した実績があるが、その対策が未施工の箇所。	水衝部にあたる堤防の前面の河床が深掘れにならない程度に洗掘されているが、その対策が未施工の箇所。	
工作物	河川管理施設等応急対策基準に基づく改善措置が必要な堰、橋梁、樋管その他の工作物の設置がされている箇所。 橋梁その他の河川横断工作物の桁下高等が計画高水流量規模の洪水の水位（高潮区間の堤防にあっては計画高潮位）以下となる箇所。	橋梁その他の河川横断工作物の桁下高等と計画高水流量規模の洪水の水位（高潮区間の堤防にあっては計画高潮位）との差が堤防の計画余裕高に満たない箇所。	
工事施工			出水期間中に堤防を開削する工事箇所又は仮締切り等により本堤に影響を及ぼす箇所。
新堤防・破堤跡・旧川跡			新堤防で築造後３年以内の箇所。 破堤跡又は旧川跡の箇所。
陸閘			陸閘が設置されている箇所。